

平成 30 年度第 6 回古賀市スポーツ推進審議会 会議録
(要約筆記)

【会議の名称】 平成 30 年度第 6 回古賀市スポーツ推進審議会

【日時・場所】 平成 30 年 12 月 5 日(金) 18:30 ～ 20:15
リーパスプラザこが交流館 302 会議室

【主な議題】

1. 開会
2. 教育部長のあいさつ
3. 審議会成立の報告
4. 会長あいさつ
5. 議事録署名委員の指名
6. 概要説明及び議事
(1) 古賀市スポーツ推進計画(素案)について
7. その他
8. 閉会

【傍聴者数】 0 人

【出席委員等の氏名】

委 員:木下忠委員、吉永春男委員、樋口武史委員、橋本洋委員、石田英治委員、本多壮太郎委員、井浦政義委員、吉田直美委員、大森睦子委員、山内光春委員、石田啓委員、齋藤光範委員、柴田敬子委員、薄秀治委員

青谷昇教育部長

事務局 生涯学習推進課 中村由果課長、吉永ゆかりスポーツ振興係長、荒川登志子主事、小西渚主任主事、高井恭平主事、草道宥哉主事

【欠席委員の氏名】 原尻敏広委員

【庶務担当部署名】 生涯学習推進課

【委員に配布した資料の名称】

・古賀市スポーツ推進計画(素案)

【会議の内容】

1. 開会
2. 教育部長のあいさつ
3. 審議会成立の報告
4. 会長あいさつ
5. 議事録署名委員の指名
(会長)
・議事録署名委員については樋口武史委員にお願いしたい。
6. 概要説明及び議事
(会長)
・古賀市スポーツ推進計画(素案)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

・前回の審議会でもいただいた意見を踏まえて事務局で計画を作成した。答申に向けて、意見をいただきたいと思う。

- ・本日いただいた意見については、表現の修正などはその都度修正していきたいと考えている。今日の審議会で意見がまとまれば今日承認をいただきたいと思う。
- ・また、大きく内容の変更が必要な意見が出された場合は、答申書の中に附帯意見としてご意見をいただきたいと思う。

(事務局)

- ・計画書の素案について、前回会議から変更のあった部分について説明する。
- ・前回コーディネーターからもご提案があったように、国や全国的は動向もふまえ、「スポーツ振興基本計画」の名称を、「スポーツ推進計画」に改める。
- ・18 ページ以降の「V 目標達成をめざした具体的取組」における記載で、ターゲット(目標)はスポーツで元気な人づくりと元気なまちづくりであることから「方向性とターゲット」を改め「方向性」と表記した。
- ・22 ページ以降、それぞれの基本目標における短期的取組の指標を新たに設定した。
- ・前回意見による「古賀らしさを強調」という箇所では、25 ページ「健康づくりにつながる運動・スポーツ」の箇所でウォーキングが盛んに実施されていることを加味し、ウォーキングの推進についての記載を行い、31 ページ「スポーツ資源の有効活用」の箇所においても、歩いてん道などのスポーツ資源も活用していきたいと新たに記載をした。また「市民が歩いてん道認知している割合」を指標として設定した。
- ・前回の意見を可能な限り反映した。変更箇所も含め、全体的に意見をいただきたい。

(コーディネーター)

- ・5 ページ「スポーツ×○○」を「○○×スポーツ」に修正した方がいいのではないかと。
- ・8 ページに1次計画と記載がある。今回の計画は、2次計画という捉え方でいいのか。

(事務局)

- ・今回のスポーツ推進計画とスポーツ振興基本計画は別のものと考えている。修正をする。

(コーディネーター)

- ・振興基本計画が終わり、法律が変わった事にもない推進計画に変更しても、計画の長期的計画性は変わらないと考えれば「第2次計画」としても構わないと思う。

(生涯学習推進課課長)

- ・3 ページの「計画策定の趣旨」に、『「古賀市スポーツ振興基本計画」を見直し、今後の本市におけるスポーツ施策推進のための方向性を示す「古賀市スポーツ推進計画」を新たに作成します』と記載した。

(コーディネーター)

- ・スポーツ振興基本計画で10年間取り組んできたことが、推進計画に変更されたことによって、全く違うものとなるわけではない。
- ・振興基本計画が終わるタイミングで、推進計画に変更して策定するという文章になっていた方がいいのではないかと。誤解のないように記載した方がいいと思う。

(委員)

- ・スポーツ振興基本計画の流れを組んで策定している事を記載した方がいいと思う。
- ・福岡県内すべての市町村が策定しているわけではない。古賀市は早い段階で策定している。
- ・10年前から施策を進めてきてスポーツに力を入れている事をアピールするためにも書いた方がいいと思う。

(委員)

- ・3 ページの「計画策定の趣旨」に古賀市スポーツ振興基本計画を「見直し」と記載すると、前回があまり良くなかったというニュアンスにも捉えられるので、「計画を発展させ」という表現にしてはどうか。
- ・計画中に「1次計画」「2次計画」と記載がまだあるので、統一した方がいいと思う。

(委員)

- ・「発展」と書くと10年後が書けない。
- ・「見直す」という表現は悪くないと思う。継続すべき点も改善すべき点も発展するべき点も含めて見直すという事だと思う。

(事務局)

- ・『「古賀市スポーツ振興基本計画」の第2次計画として、今後の本市におけるスポーツ施策推進のための方向性を示す「古賀市スポーツ推進計画」を新たに作成します』という表現ではどうか。

(コーディネーター)

- ・提案のとおりでいいと思う。
- ・1 行目「古賀市スポーツ振興基本計画」のあとに「第 1 次計画」と記載した方がいいと思う。

(委員)

- ・15 ページ、(1)スポーツ指導者と(2)スポーツ活動支援者に、障がい者スポーツに関わる環境の構築について記載して欲しい。

(委員)

- ・(2)スポーツ推進委員と(3)体育協会も正式名称を記載した方がいいと思う。国や県にも組織がある。

(山田委員)

- ・26 ページの「4. スポーツのユニバーサルデザイン」は、「ユニバーサルデザイン化」ではないか。

(事務局)

- ・めざす姿の下に「スポーツのユニバーサルデザインとは、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツに親しむことができ、スポーツを楽しむことができる姿」という注釈をつけている。

(委員)

- ・方向性に「障がい者スポーツ普及の基盤づくりにつなげます。」と記載があるので「ユニバーサルデザイン化」がいいと思う。

(委員)

- ・25 ページ 26 ページの方向性について、文章が長い箇所等を修正した方がいいと思う。

(コーディネーター)

- ・35 ページの東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて、福岡県ではオリンピック以外にも、世界水泳も決まって世界大会がどんどん誘致され元気な都市となると思う。
- ・方向性に、「オリンピック・パラリンピック終了後もスポーツをきっかけとした地域活性化」とあるが、国際的な大会をきっかけとした活性化を考えているのか。
- ・スポーツをツールとした地域活性化をここに記載する意味があるのか。

(委員)

- ・地域部会の中では、国際的な大会に限定したものという話にはなっていないかと思う。
- ・あくまで、オリンピック・パラリンピックを契機として地域が活性化となる何かを実施していけばいいのではないかと、いう意見が出ていた。
- ・指標に「オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツイベントの実施回数」に現状値 1 回と記載があり、目標値維持継続とある。これはルーマニア柔道の事を言っているのか。

(事務局)

- ・この 1 回は、今年度 10 月 21 日に実施した市民健康スポーツの日に、オリンピックの小鴨由水さんをお招きして講演会と実技指導を行ったものである。
- ・ルーマニア柔道ではなく、オリンピック・パラリンピックに関わりのある方をお招きした講演会などを継続的に行っていきたいと考えている。

(委員)

- ・35 ページには「オリンピック・パラリンピックを契機とした」と何度も書いてあるが、1 番大切なのは「地域の活性化」だと思う。そのためには地域コミュニティの連携という事が必要ではないか。
- ・古賀市内の地域では、独自にスポーツに取り組まれているところもある。

(事務局)

- ・「地域」の捉え方もいろいろあると思う。35 ページで記載している「地域活性化」は古賀市全体を考えている。
- ・オリンピック・パラリンピック、ルーマニア柔道のキャンプをチャンスとして、まちを盛り上げていきたいと考えている。
- ・自治会や地域コミュニティレベルでの視点は現時点で持っていない。

(生涯学習推進課課長)

- ・ルーマニア柔道のキャンプを先日まで受け入れていた。短期間ということもあり十分な交流までは実施できなかったが、舞の里小学校の3年生との交流を実施した。
- ・子ども達は、舞の里体操や習字などで交流を行った中で、言葉の壁など関係なく選手とコミュニケーションを取ろうとしていた。
- ・その姿を見ていると、スポーツにとどまらず、何か外国に興味を持ったり、言葉に関心を持ったり、オリンピックに関わる仕事をめざしたいと感じてもらえたり、ルーマニア柔道の選手に触れる事で、自分の夢を持つということにもつながって行くのではないかと感じた。
- ・今回の交流を通じて、次回はこのような交流をしようとか、工夫をしようという経験を重ねていくことを、オリンピック・パラリンピック終了後もつなげていけたらという願いも込められている。

(コーディネーター)

- ・33 ページの「地域におけるスポーツ活動の充実」の地域はどのような捉え方か。

(委員)

- ・「基本目標 4 スポーツをツールとした地域活性化」から、めざす姿が進むにつれて地域の捉え方が大きくなっていると思う。
- ・1 では、地域コミュニティや自治会をイメージしていたが、最後オリンピック・パラリンピックのところでは、市全体をイメージしているということなので、地域にも幅がある。それぞれに補足説明が必要ではないか。

(委員)

- ・地域部会の中で、地域の定義は「小学校区単位としよう」として議論してきた。計画の中で地域の定義がそれぞれ違ってくるのであれば、補足説明をした方がいいと思う。

(委員)

- ・基本目標とオリンピック・パラリンピックの部分で「地域活性化」と同じ言葉を使っている。使い分けないと理解できないのではないか。

(生涯学習推進課課長)

- ・提案をさせていただきたい。「基本目標 4 スポーツをツールとした地域活性化」はそのまま、「1 自治会や地域コミュニティにおけるスポーツ活動の充実」とし、「3 大規模国際大会等を契機とした地域活性化」として具体的に記載してはどうか。

(委員)

- ・そちらの方が分かりやすいと思う。

(委員)

- ・具体的な記載の方がいいと思う。

(委員)

- ・地域コミュニティが小学校単位であると知らない市民もいるのではないか。自治会や地域コミュニティはどの単位か記載があった方がいいと思う。

(委員)

- ・校区コミュニティが一般的な言い方なのかもしれない。

(コーディネーター)

- ・担当課と確認をして、古賀市で使われている言葉に修正をして欲しい。

(委員)

- ・35 ページのめざす姿に「スポーツの振興」とある。振興でいいのか。

(事務局)

- ・事務局でも協議した。スポーツ施策については、「推進」とし、スポーツ自体は「振興」としている。皆様のご意見を伺いたい。

(委員)

- ・26 ページの障がい者スポーツは「推進」となっている。

(コーディネーター)

- ・事務局の見解で問題ないと思う。

(委員)

- ・27 ページの指標の内容について、「スポーツ行事に参加しなかった割合」とある。しなかった割合でいいのか。
- ・同ページ「障がい者スポーツ体験会への参加者数」について、40名の現状値はスポーツ推進委員の事業に参加した人数か。
- ・全体的に、基本目標と指標は合っているのか。例えば、基本目標 1 の指標について、アンケート結果や体力測定結果をしている。指標なので数値が分かるようにとは思いますが、それだけでいいのか。
- ・短期的取組の指標が達成されれば、長期的(10年後)に目標達成となるのか。

(委員)

- ・「基本目標 1 の短期的取組の指標」で、「2 ジュニアスポーツ団体指導者・部活動指導者の研修会実施」の目標値が2回以上とあるが、10年間で2回以上ということか。

(事務局)

- ・年間に2回以上である。

(委員)

- ・平成 29 年度アンケート調査の数値か、これまでの第 1 次計画の結果なのか分からない。

(生涯学習推進課課長)

- ・27 ページの指標の内容について、「スポーツ行事に参加しなかった割合」は、事務局でも話し合った。平成 29 年度アンケート調査で「この1年間で参加したスポーツイベント(複数回答)」となっており、純粋な数値が分からない。よって「参加しなかった人の割合」を目標値とした。
- ・「障がい者スポーツ体験会への参加者数」について、40名の現状値はスポーツ推進委員の事業に参加した人数としている。
- ・5年後見直す時に、この指標で良かったかも含めて見直していきたいと考えている。
- ・基本目標 1 の指標についても、体力テストの結果で施策の評価をするのには、足りないところもあるかもしれない。現在の課題が体力テストにあるため、指標としてあげている。

(コーディネーター)

- ・計画で言う短期的という意味の解釈を、統一しておきたい。今後随時変わっていくと考えていいのか。

(生涯学習推進課課長)

- ・短期的(3～5年以内)で見直すときに、目標値も見直していくと考えて欲しい。
- ・「スポーツ行事に参加しなかった割合」については、100パーセントから「しなかった割合」を差し引いて、「スポーツ行事に参加した割合」とし、目標値を40%としたいと思う。

(委員)

- ・目標値はどのように決めたのか。この数値になれば、何かが達成されると考えていいのか。
- ・短期的目標値であるにも関わらず、「2回以上」「増加」「維持・継続」とあるが、曖昧ではないか。

(委員)

- ・数値について、国や県、他市町村などと容易に比較できるものがあるのか。
- ・最終目標は100%だと思うが、それは現実的ではないとの判断での数値だとは思う。

(事務局)

- ・基本目標 1 の指標の1～3については、体力測定結果などを用いて国や県、他市町村との比較は可能である。
- ・「4子どもと一緒に運動やスポーツをする割合」は、平成 29 年度アンケート調査での5歳児保護者を対象とした結果を用いている。他市町村などとの比較は難しいと考える。

(委員)

- ・5歳児保護者の対象の範囲はどのくらいか。

(事務局)

- ・全保育所・保育園の5歳児保護者300～400名を対象とした。
- ・目標値の設定について、「3 課外での外遊びや運動をしている児童・生徒の割合」については、国のスポーツ基本計画で、児童生徒が運動したい割合を80%としている。
- ・市でも、10年後「運動したい、している割合」を80%まで持っていきたいと考えているところから、短期的目標値を70%と設定した。
- ・また、児童生徒だけでなく、幼児期についても同様に80%まで持っていきたいと考えているため、「4 子どもと一緒に運動やスポーツをする割合」についても同じ数値の70%とした。
- ・27 ページ「18歳以上の市民が週1回以上運動・スポーツを実施する割合」についても、国のめざしているスポーツ実施率65%まで持っていきたいと考えている。現状値として、国や県の平均値より実施率は高いため、短期的目標として65%とした。

(委員)

- ・「3 課外での外遊びや運動をしている児童・生徒の割合」の課外はいつのことか。市民には放課後の方が分かりやすいのではないかな。

(事務局)

- ・課外とは、放課後と土曜日日曜日も含まれたことをさしている。

(委員)

- ・課外の意味は、補足説明があった方がいいと思う。

(委員)

- ・22 ページの「2 ジュニアスポーツ団体指導者・部活動指導者の研修会実施」について、この2つの指導者は全く違う。
- ・ジュニアスポーツ団体とはどの団体をさすのか。部活動指導者は多くはないと思うが、例えば外部指導者がどのくらいいるのか把握しているのか。この研修に外部指導者は含まれるのか。この文章では分からない。
- ・現状値の毎年1回研修会は、どのように行われていたのか。
- ・「研修会に参加しなければ認めない」くらいのはっきりした姿勢が必要だと思う。ただ研修会を実施しただけでは意味がないのではないかな。
- ・「4 子どもと一緒に運動やスポーツをする割合」も「4 保護者が子どもと一緒に運動やスポーツをする割合」と書いた方がいいのではないかな。

(委員)

- ・「4 子どもと一緒に運動やスポーツをする割合」も「4 幼児と一緒に運動やスポーツをする割合」と書かないと小学生や中学生も含まれてしまうのではないかな。

(委員)

- ・この指標は、保護者が「4 子どもと一緒に運動やスポーツをする割合」について書かれたものだと思う。
- ・課外については、全国学力学習状況調査の中に書かれているので参考にしようか。

(会長)

- ・これから部活動のあり方も変わってくる。
- ・22 ページの「基本目標1の短期的取組の指標」の記載方法については、事務局で整理をお願いします。

(生涯学習推進課課長)

- ・「2 ジュニアスポーツ団体指導者・部活動指導者の研修会実施」については、分けて記載した方がいいのではないかと考えている。
- ・ジュニアスポーツ団体指導者の研修については、来年度から新たな取組として実施したいと考えている。
- ・今年度でジュニアスポーツ団体活動補助を廃止することとしている。
- ・今後は補助という形ではなく、ジュニアスポーツの指導者へ、虐待防止や熱中症予防など正しい知識を得る事ができる研修を行っていききたい。そのための指標としてもいいのではないかと考えている。

(委員)

- ・注釈で「取組内容における短期は3～5年以内、中・長期は10年を見据えた取組としています」と書いているが分かりにくいので、「短期的取組の指標」の書き方を変えた方がいいのではないか。
- ・23ページのめざす姿は「〇〇×スポーツによるきっかけづくりを推進する」の書き方は変更した方がいいと思う。

(事務局)

- ・「〇〇×スポーツによるきっかけづくりが図られている」と変更したい。

(コーディネーター)

- ・ジュニアも含めた「選手の発掘と育成」についての視点がこの計画にはないのではないか。
- ・今後古賀市から発掘していくという姿勢の記載は必要ないのか。古賀市からトップアスリートを輩出していくという視点も必要ではないか。
- ・地域活性化にもつながることだが、国際的全国的に活躍する選手をサポート支援するという視点はどうか。
- ・地元で応援する人物やチームが活躍すると古賀市全体が盛り上がることにもなる。

(事務局)

- ・ジュニア世代の人材の育成や発掘という視点は、12ページの(3)競技スポーツに「福岡県タレント発掘事業の啓発を行いながら実施し、チャレンジできるような環境の構築をしていく」と記載している。ただ、具体的取組の記載はしていない。

(コーディネーター)

- ・「環境を構築」と書くと実施していかなくてはならないと思う。「連携していく」や「積極的に推進していく」などとした方がいいのではないか。
- ・広く捉えて、国際的全国的に活躍する選手で古賀市に「ゆかりがある人」や「出身者」を支援していくという市町村もある。

(委員)

- ・トップアスリートの育成や発掘、支援はとても大切だと思う。選手が活躍することにより、地域が元気になる。
- ・野球やサッカーやバスケットなど、実施人数が比較的多いスポーツで、トップアスリートとなる子ども達が出てくればいいと思う。
- ・しかし、体力測定の結果などから、優秀な子ども達を別のスポーツへシフトいくことにより、日本代表などトップアスリートとなる可能性がある子ども達が増えていくと思う。古賀でもうまくいっているケースがある。
- ・福岡では競技団体を支援する体制が整っている。他の県では種目を限定して、特化して取り組んでいるところもある。
- ・古賀市でもホッケーで、18歳以下の代表や20歳の代表も出てきている。計画に記載してもいいのではないかと思う。

(会長)

- ・具体的取組に追記できないか。

(吉永委員)

- ・31ページ「3 スポーツ資源の有効活用」に記載してはどうか。

(委員)

- ・「福岡県タレント発掘事業」に何人ぐらい行っているのか。何年に1人くらい行っているのか。
- ・日本代表などトップアスリートを応援したいという気持ちは理解できるが、具体的に市としてどのように支援していくのか決まっていないのに、現段階で記載するのは難しいのではないか。

(会長)

- ・課題での記載にとどめておいた方がいいという事か。

(コーディネーター)

- ・積極的にスポーツにチャレンジできるような環境を整備するなどとしてはどうか。めざしていく姿勢だけでも記載してはどうか。

(事務局)

- ・スポーツには、生涯スポーツと競技スポーツに分けることができると思う。競技スポーツに関しては体育協会を中心と

して支援を行っていききたいと考えている。選手の育成や発掘も競技団体の中で行っていかればと思う。

- ・競技団体に対しての行政の役割は、指導者の質を向上するために研修会を実施するなどの施策を考えている。

(コーディネーター)

- ・日本代表などトップアスリートの支援は、具体的に言えば活動資金の支援のことを言う。県外への遠征に行く時の個人負担を減らす支援を行うことを「めざす姿」として記載してもいいのではないかと考えた。
- ・子どもだけでなく、障がいのある人も青年も対象となるので、魅力的な地域のつながりがうまれてくると思う。
- ・日本代表などトップアスリートの発掘をめざして、行政から支援の準備があることを記載してはどうか。

(委員)

- ・体育協会で、全国大会に出場する競技団体への支援を実施しているのではないかと。

(コーディネーター)

- ・実施しているのであれば計画中に「継続します」「拡充します」と記載してはどうか。
- ・全国大会に出場するから支援するのではなく、出場するために支援をする体制があることの記載することが必要である。

(委員)

- ・「拡充する」という記載は難しいのではないかと。

(会長)

- ・これから体育協会でも企業への協賛をお願いして行こうと考えている。古賀市の企業から競技スポーツへの支援によって、全国大会などに出場することで、古賀市の誇りとなっていくと思う。

(委員)

- ・12 ページの(3)障がい者スポーツについて、「年齢や障がいの有無に関わらず実施可能である障がい者スポーツは～」と記載がある。障がい者スポーツは、健常者も一緒にできるスポーツであるという意味で書いているのだと思うが、健常者が主体になっている。
- ・障がいのある人がスポーツを実施できるということは、社会参加の権利である。それを支援するということが本来計画に明記され、めざすべき姿ではないのか。
- ・障がい者の社会参加を支援していくという事を明確に記載して欲しい。

(委員)

- ・先ほどの意見に関連して、「スポーツ推進委員が中心となり」と記載があるが、スポーツ推進委員は、「障がい者スポーツはこのようなものがある」ということと「健常者も一緒にできます」ということを中心に普及・啓発をしている。

(生涯学習推進課課長)

- ・障がい者の社会参加を支援していくという事をきちんと盛り込んだ文章に変更したいと思う。古賀市障がい者基本計画にも明記してあることなので、それと整合するように記載したい。

(会長)

- ・たくさん意見が出された。今日出された意見を事務局でまとめていただき、教育長への答申書の作成については、私に一任していただけてよろしいか。ありがとうございます。
- ・以上で、第6回古賀市スポーツ推進審議会の審議を終了する。ご協力ありがとうございました。